

市町村名		座間味村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	座間味村海域安全隊事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
	担当部課名	船舶・観光課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光リゾート産業の振興
事業内容	座間味村内の3ビーチ(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)において、観光客が増加するシーズンの海難事故防止及び安全確保を図るためのライフセーバーを配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	12,000	16,201	25,571	21,228	20,266
	(b) 予算現額	12,000	16,201	25,571	21,228	20,266	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	12,000	16,201	25,571	21,228	20,266	
	B. 執行済額	12,000	15,925	21,957	21,143	20,266	
	うち交付金充当額	9,600	12,740	17,565	16,914	16,212	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.3%	85.9%	99.6%	100.0%	
予算の状況の説明	事業計画どおりに事業を執行することが出来た。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	ライフセーバーの配置 ・古座間味ビーチ 2名(3名) ・阿真ビーチ2名 ・北浜ビーチ2名 (7月、8月、古座間味ビーチ1名増)	目標	(GW～10月末 常駐)	(GW～10月末 常駐)	(GW～10月末 常駐)	(GW～11月末 常駐)	
		実績	4月25日～10月31日	4月24日～10月31日	4月23日～10月31日	4月13日～11月30日	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	座間味村全域(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)を合同会社ビーチパトロールのスタッフが常駐し監視を行った。11月以降も遊泳客が一定数いることから、安全確保を図るために令和元年度からは11月末までライフセーバーを配置することとした。 ・業務期間:平成31年4月13日～令和元年11月30日 ・監視人数:各ビーチ2名ずつ合計6名。夏季繁忙期(7月1日～8月31日)は古座間味ビーチ1名増の合計7名。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)	
			()	()	(0件)	(0件)	()
	ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件	目標	()	()	(0件)	(0件)	()
		実績			1件	0件	
【参考指標】 海水浴客等の海洋事故防止と安全確保	目標	()	(海難事故防 止と安全確 保)	(海難事故防 止と安全確 保)	(海難事故防 止と安全確 保)	()	
	実績		実施	実施	実施		
進捗状況説明	村内3ビーチ(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)において平成31年4月13日～令和元年11月30日の間、ライフセーバーを配置し、死亡事故を防ぎ、目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ビーチ利用者に対し遊泳区域に関する注意等を行った際、こちらの指示に従わずトラブルとなり、ビーチ管理に支障が生じた。</p>	<p>・ビーチ利用者がライフセーバーの指示に従ってもらえるよう、注意の仕方を工夫する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・ビーチ利用者がライフセーバーの指示に従ってもらえるよう、分かりやすい説明を心がけ、業務中の態度や言葉使いの改善を図る。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
20,266	20,266	16,212	4,054	0
<p>業務内容(3ビーチ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視、パトロール ・事故防止のための安全指導、環境保全指導 ・遊泳禁止条件、禁止区域での警告、指導 				

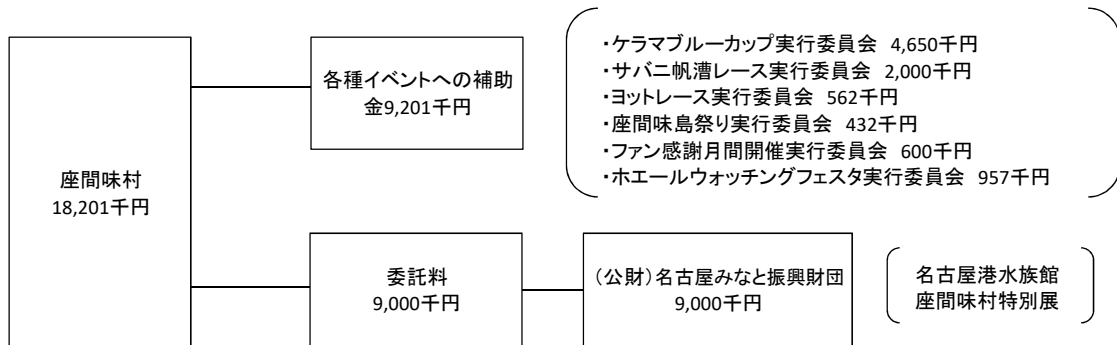
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は資格等を考慮して選定しており、また水難救助という特殊性から妥当であったと考える。</p> <p>○期間、人数から鑑み適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	座間味村がんばる観光支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内周知活動、県外水族館等での誘致活動を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		17,000	16,700	20,850	20,050	19,550
			17,000	16,700	20,850	11,050	19,550
			0	0	0	▲ 9,000	0
			—	—	—	—	—
			17,000	16,700	20,850	11,050	19,550
	B. 執行済額 うち交付金充当額		11,823	9,960	16,550	9,792	18,201
			9,458	7,967	13,240	7,834	14,560
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		69.5%	59.6%	79.4%	88.6%	93.1%
予算の状況の説明	悪天候や新型コロナウイルス感染症の影響による一部イベント中止により1,349千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	各種イベントへの支援	目標	(イベント支援6件)	(イベント支援7件)	(イベント支援7件)	(イベント支援6件)	
		実績	イベント支援3件	イベント支援6件	イベント支援7件	イベント支援6件	
	県外PRイベントの実施	目標	(イベント実施)	(イベント実施)	(イベント実施)	(イベント実施)	
実績		イベント実施	イベント実施	イベント未実施	イベント実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントの支援については、6件のイベントに対し補助金を交付した。悪天候や新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となったイベントについては、準備等にかかった費用を補助した。 県外PRイベントについては、予定どおり実施することが出来た。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	入域観光客数112,000人	目標	()	()	(111,000人以上)	(112,000人以上)	()
		実績		108,467人	98,631人	99,110人	
	観光関連イベント参加者数:9,017人以上	目標	()	()	()	(9,017人以上)	()
		実績		15,540人	14,642人	15,790人	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 夏場の台風による船舶運航キャンセルや新型コロナウイルス感染症の影響により、入域観光客数は目標を達成できなかった。 イベントを拡充して開催したことで、参加者の目標数値は概ね達成できた。(各イベント参加者数:サバニ帆漕レース42艇720人、ヨットレース62艇491人、座間味島祭り1,079人、ホエールウォッチング13,500人) 名古屋港水族館において、座間味村のPR活動として、名古屋港水族館座間味村特別展を実施した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・台風等による船舶欠航で入域観光客数の目標値を達成できなかったが、気象条件によらず安定した入域数を維持することが必要である。 ・各種イベントについては、回数を重ねることで認知度も上がり、安定した参加者数が確保出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入域観光客数の確保のためには、冬期の閑散期の集客を図り、夏場の台風時期の船舶欠航を補う必要がある。 ・今後も安定したイベント参加者数を確保し、更なる誘客を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・マリレジャーが盛んである夏場の繁忙期とは違う魅力が冬場にはあり、本村にある観光資源を最大限に活かし、冬期の閑散期の集客を図る。また、リピーターや新規の誘客を図るためには、各実行委員会と連携し、イベントの内容の拡充等を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,237	18,201	14,560	3,641	36



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県外PR委託事業は、専門性が高く、水族館と直接契約することにより適切なコンサルティングが図られたことから、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業規模に見合った範囲内で設定しており、妥当であるとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である各イベントの実行委員会は3割以上負担しており、事業内容や事業目的から判断して妥当であるとする。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		座間味村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	座間味村観光受入拠点事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
事業内容	年中無休の観光案内業とタイムリーな観光情報の発信及びマリンスポーツ事業者や民宿事業者への取り次ぎ案内などをスムーズに行い、外国人を含めた観光客誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ支援を行い、観光客の誘客と満足度の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,000	14,252	19,734	18,282	16,398
		(b) 予算現額	16,000	14,252	19,734	18,282	16,398
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	16,000	14,252	19,734	18,282	16,398
		B. 執行済額	13,489	11,372	16,303	16,235	14,566
		うち交付金充当額	8,061	9,097	13,042	12,988	11,652
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	84.3%	79.8%	82.6%	88.8%	88.8%
	予算の状況の説明	不用額1,832千円は職員減に伴う共済費残、スキルアップ講座の開催数減に伴う講師旅費や報償費等の残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	観光案内書開設年中無休(台風時等は閉鎖)	目標	(365日)	(365日)	(365日)	(365日)	
		実績	362日	365日	365日	365日	
	村内外観光客誘客活動年8回	目標	(5回)	(2回)	(8回)	(8回)	
		実績	5回	6回	4回	5回	
観光事業者向けスキルアップ講座 陸域メニュー3回、心肺蘇生法講習会1回	目標	(5回)	(8回)	(新規メニュー開発2回 ノルディックガイド養成1回 心肺蘇生講習会2回)	(陸域メニュー開発3回 心肺蘇生講習会1回)		
	実績	5回	6回	新規メニュー開発2回 ノルディックガイド養成1回 心肺蘇生講習会0回	陸域メニュー開発2回 心肺蘇生講習会0回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・案内業務については、年中無休で実施できた。 ・県内外の誘客活動については、5回しか達成できなかった。 ・スキルアップ講座は新型コロナウイルス感染症の影響等で目標達成ができなかった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光客の利便性を図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業の在り方について検証する。	目標	()	(満足度80%)	(満足度80%)	()	()
		実績		満足度90.3%	満足度89.9%		
	観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光従事者へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する。	目標	()	(満足度80%)	(満足度80%)	()	()
		実績		未実施	満足度95.0%		
	入域観光客数:112,000人以上/年	目標	()	()	(112,000人)	()	()
実績				99,110人			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客及び観光従事者向けアンケートについては、満足度が目標を上回り、目標を達成することができた。 ・特に事業者向けの講習会は無料で質の良い講習会が出来たので、満足度が非常に高かった。 ・入域観光客数については、夏場の台風による船舶運航キャンセルや新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成できなかった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みによりアンケート結果からは観光客の満足度、利便性の向上が図られていると推察できるが、満足度・利便性ともに引き続き高い評価を得られるような取組が必要。 多くの意見を聞くために、多言語に対応したアンケートの実施が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの多言語化や電子化により、多くの方から意見を集約する。

今後の取り組み方針

・QRコード等によるアンケートの電子化を行い、多言語化や簡略化を図りより多くの意見を集約する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,185	14,566	11,652	2,914	1,619



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的を達成するに当たり、観光協会以外に適した事業者はないため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○業務内容に見合った予算規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は事業費の約1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	座間味村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	座間味村景観計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成29～令和1年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	座間味村の豊かな自然や歴史等の風景を生かした観光地としての魅力的な景観形成を図るため、景観計画を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度以降)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,861	4,905	5,272		
		(b)予算現額	5,861	4,905	5,718		
		(c)増減額(b-a)	0	0	446		
		(d)繰越額	-	-	-		
		A.計(b+d)	5,861	4,905	5,718		
	B.執行済額		5,400	4,806	5,718		
	うち交付金充当額		4,320	3,844	4,574		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		92.1%	98.0%	100.0%		
予算の状況の説明		消費税率改定及び契約内容の変更により変更契約を行い、446千円の増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	景観計画策定委員会の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	庁内会議の開催	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	景観計画の住民説明会実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
景観条例の策定	目標	(完了)	()	()	()		
	実績	完了					
達成状況説明	・景観計画の策定にあたっては、住民説明会やパブリックコメントを実施し、住民等からの意見等を募るとともに、庁内会議、景観計画策定委員会を開催し、準景観地区指定に向けた沖縄県との協議についての結果報告、座間味村景観計画(素案)の修正等、景観計画の運用に向けての意見集約等を行った。 ・座間味村景観条例の制定については、令和2年3月座間味村議会にて可決され、令和2年10月1日に施行する。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R2年度)
	景観計画の策定完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R2成果目標】策定した景観計画に基づき、景観形成に向けた取組の実施につなげる。	目標	()	()	()	()	(取組実施)
		実績					
進捗状況説明	令和2年2月28日付けにて、景観計画の策定を完了した。						

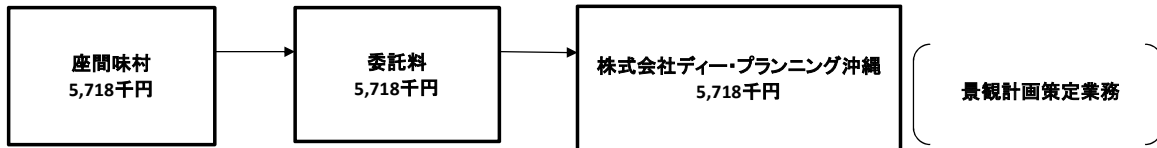
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・座間味村景観計画及び景観条例について、住民に対する周知が不足している。 ・景観計画・条例に基づく届出等に対して、審議等を行うための機関を設置する必要がある。 ・良好な景観形成に寄与すると認められる活動等に対して、助成金を交付するための仕組みづくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画及び景観条例が、住民にしっかりと認知され、魅力的な観光地としての景観形成が図られるよう、周知活動を実施する必要がある。 ・各種審議等を行う機関として、座間味村景観審議会を設置する。 ・座間味村景観地区助成金交付要綱を策定する。

今後の取り組み方針

- ・景観計画・景観条例の広報を行い、住民に対し広く周知を図る。
- ・条例施行までに、景観計画策定委員会の委員から審議会委員を選任するとともに、他市町村の事例を参考に規則を定め、審議会を設置する。
- ・令和元年度に作成した助成金交付(案)をベースとして、他市町村の事例も参考にしながら、要綱を策定する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,718	5,718	4,574	1,144	0



資金の流 れ、 点 検 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務の委託は、指名競争入札により契約しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、成果物報告書を受け適正な規模であったと考えている。 ○費目、用途については事業目的に即し、真に必要なものと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

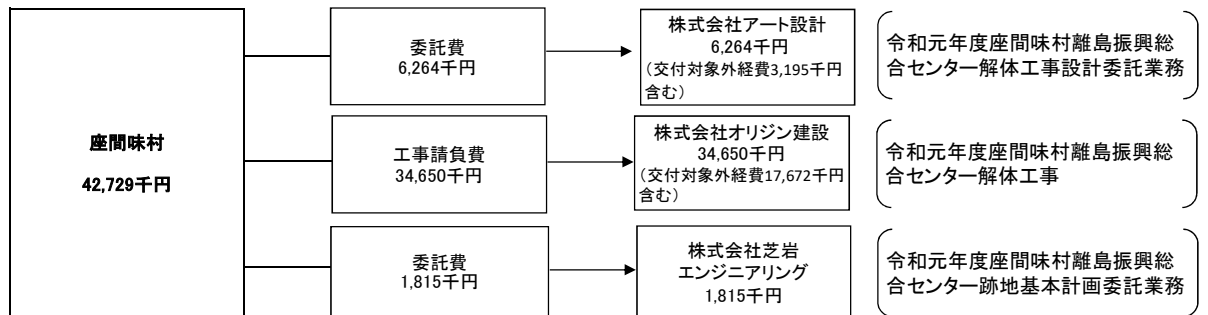
市町村名		座間味村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	座間味村ウェルカム・パーク整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部課名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	令和1~3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本村の玄関口・座間味港に向かって立つ公共施設「座間味村離島振興総合センター」(1981年建設)を解体し、緑地公園化することにより国立公園にふさわしいゲート空間を創出する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a)当初予算額	30,670				
	(b)予算現額	23,600					
	(c)増減額(b-a)	▲7,070					
	(d)繰越額	—					
	A.計(b+d)	23,600					
	B.執行済額	21,862					
	うち交付金充当額	17,489					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	92.6%					
予算の状況の説明		・施設設計を行い、環境省整備部分及び村整備部分が決定したため、委託料及び工事費7,070千円を減額した。 ・全体事業費残額1,738千円は、工事解体設計・解体工事・跡地基本計画の委託契約の入札差金である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	既存施設の解体	目標	(解体設計・工事実施)	()	()	()	
		実績	解体設計・工事完了				
	座間味村ウェルカム・パーク基本設計	目標	(基本計画策定)	()	()	()	
		実績	基本計画策定完了				
達成状況説明	・解体工事設計委託業務は令和元年7月29日契約、8月30日に完成。解体工事は令和元年12月2日契約、令和2年3月27日完成。跡地基本計画委託業務は令和元年12月25日契約、令和2年3月19日完成。 ・予定していた3事業とも年度内に事業が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	既存施設の解体	目標	()	(解体設計・工事実施)	()	()	()
		実績		解体設計・工事完了			
	座間味村ウェルカム・パーク基本設計	目標	()	(基本計画策定)	()	()	()
		実績		基本計画策定完了			
	進捗状況説明	受注者に建設機材や資材運搬のためのフェリーの予約等の協力を行うなど、工事がなるべく円滑に進められるよう調整し、令和元年度に予定していたすべての事業が完了した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 天候や貨物の予約等に状況により、資材の運搬が遅れ工程に影響がでる。 観光が主産業の村であることから、工事関係者の宿泊場所や食事の確保が厳しく、工程に影響がでる。 下請業者の離島単価が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 資材の運搬についての予約等は村が協力する。 村で空き家の紹介、村施設の提供等の協力を行う。 下請け業者の離島単価高騰により元請け業者の積算と差があり、下請け業者の確保が困難となり、離島工事の受注を控える業者が多い(入札辞退理由調査結果による)ことから、宿泊費等を必要としない村内の工事業者を紹介する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 離島経費の積上、宿泊施設の斡旋・提供、フェリーでの資材の運搬予約協力等を行うことにより、建設業者の離島での負担軽減を図り、工事が円滑に進められるようにする。 村内事業者を紹介することにより、悪天候による機材運搬のリスクが減少し確実な事業執行に繋げる。 令和2年度は、令和元年度に策定した基本計画に基づき、実施設計を進める。また、ウェルカム・パークの整備箇所に隣接して、環境省がビジターセンターを整備する予定であることから、環境省とも連携しながら事業を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
42,729	21,862	17,489	4,373	20,867



※解体後の跡地には、村が整備するウェルカム・パークのほか、環境省がビジターセンターを整備する予定であり、解体後の跡地のうち環境省の将来利用分は交付対象外経費となっている。

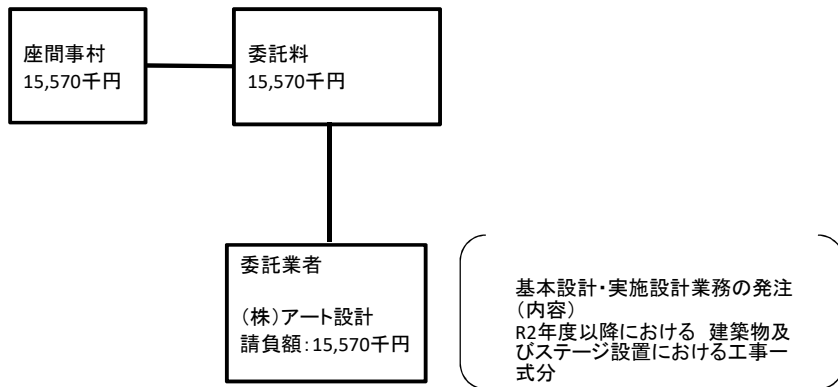
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、予算額23,600千円に対し、不用額は1,738千円であり適正な規模であると考えます。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	座間味村観光イベント施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	令和1~3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	座間味村歴史文化・健康づくりセンターに隣接して、観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,381				
		(b)予算現額	16,249				
		(c)増減額(b-a)	▲132				
		(d)繰越額	—				
		A.計(b+d)	16,249				
	B.執行済額		15,570				
	うち交付金充当額		12,456				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		95.8%				
予算の状況の説明		不用額679千円については、委託料の入札差金によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	野外ステージ設置に伴う基本設計・実施設計の策定業務	目標	(基本設計・実施設計の策定)	()	()	()	
		実績	基本設計・実施設計の策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	公募型プロポーザルにより委託契約を締結し、基本設計・実施設計が予定どおり完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	野外ステージの基本設計・実施設計の策定	目標	()	(基本設計・実施設計の策定)	()	()	()
		実績		基本設計・実施設計の策定			
	【R4成果目標】 イベントへの参加者数(観光客)	目標	()	()	()	()	(5,040人)
		実績					
	進捗状況説明	予定どおりに設計業務が完了した。R4年度の供用開始に向け、R2年度以降は実施設計に従い、野外ステージの整備を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	実施設計が完了したことで、R2年度以降に実施する施設工事が可能となり、現段階において推進上の問題はない。	R4年度の野外ステージの供用開始に向け、R2年度以降、施設工事に取り組むことができるため、現段階においては改善の必要はないものと考えられる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度以降、実施設計に従い野外ステージの施設整備工事を実施する。(鉄筋コンクリート壁式構造、一部鉄骨造幕張屋根の設置等、2期に分けて工事実施) ・R4年度の供用開始を目指すとともに、更なる観光誘客を促進するために、既存のイベントだけでなく、新規のイベントの実施に向け、今後検討を進める必要がある。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,570	15,570	12,456	3,114	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○公募型プロポーザルにより業者選定をしており、妥当である。 ○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模である。 ○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興	
事業内容	サンゴ礁海域の回復を目指すためにサンゴ産卵時に卵を採取し、種苗の生産と育成を行う。また、種苗の生産や海への植付を行う人材の育成と施設運営の支援も実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	8,766	5,826	6,969	7,115	7,965
		(b)予算現額	8,766	5,826	6,969	7,115	7,965
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		8,766	5,826	6,969	7,115	7,965
	B. 執行済額		5,364	5,168	6,310	4,870	7,736
	うち交付金充当額		4,291	4,134	5,048	3,896	6,188
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		61.2%	88.7%	90.5%	68.4%	97.1%
予算の状況の説明		不用額229千円は種苗センターの役務費等の減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	サンゴの種苗生産	目標	()	(実施)	(実施)	()	
		実績		実施	実施		
	サンゴが減少している海域への生産したサンゴの植付	目標	()	(実施)	(実施)	()	
		実績		実施	未実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・サンゴの種苗生産については、約5000本生産することが出来た。 ・サンゴの種苗植付については、まずは種苗生産に力を入れるべきとの判断により、未実施となった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	種苗の植付:800本以上/年	目標	()	()	(1000本)	(800本)	()
		実績			800本	未実施	
達成状況説明	R1年度は、800本以上のサンゴの種苗の植付を目標に掲げていたが、村と座間味村漁業協同組合で協議を行い、毎年安定した数のサンゴ植付数を確保するには、まずはサンゴの種苗の生産に力を入れる必要があるということになり、未実施となった。今年度は約5000本のサンゴの種苗を生産した。						

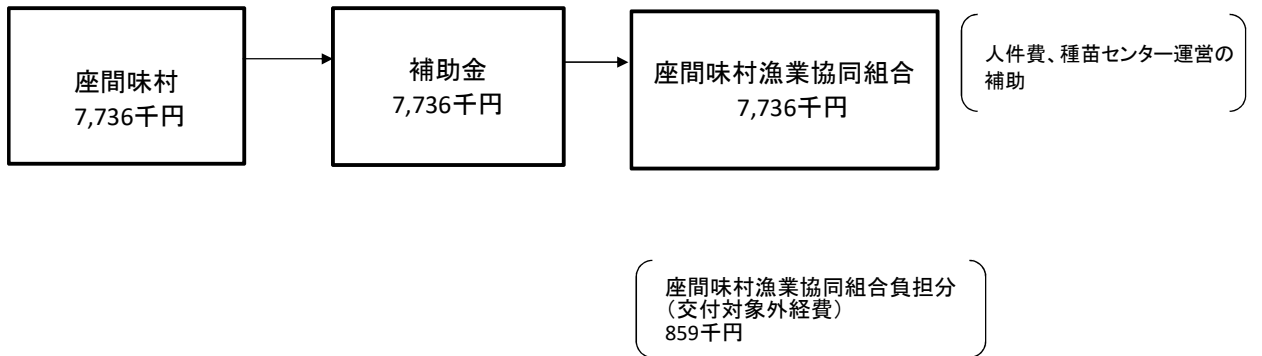
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	毎年安定した数のサンゴ植付数を維持するためには、植付数の倍以上の種苗がなければならない。	種苗数を増やすためには、サンゴの卵の採卵数を増やす必要がある。

今後の取り組み方針

安定的に種苗植付が実施できるよう、採卵の際に人員を増員する等、採卵箇所を広げることにより採卵数を増やし、サンゴの着生数の増加、種苗生産数の増加につなげる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,595	7,736	6,188	1,548	859



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的を達成するにあたり、知識を有する当事業者が適しているかと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業達成にあたり妥当な額であると判断した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である座間味村漁業協同組合は、1割を負担しており、事業内容や負担割合から判断して妥当であると考えます。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業の使途については、実績報告書などの書類で確認した結果、適正であった。

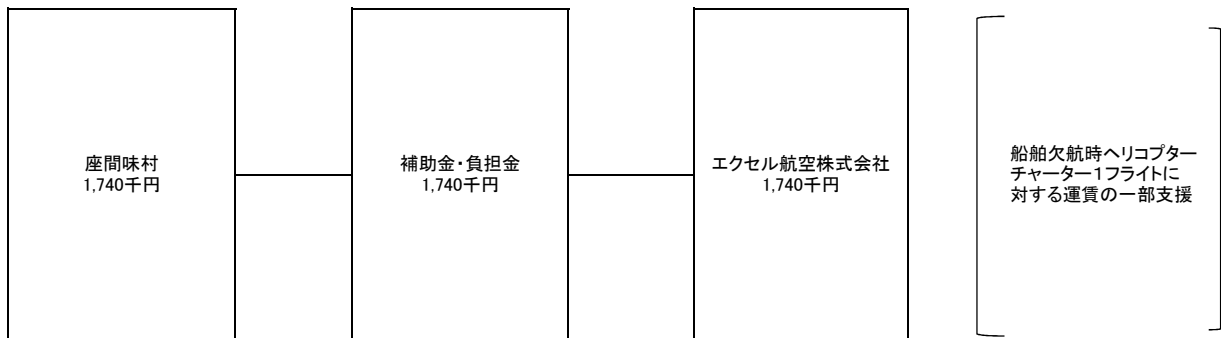
市町村名		座間味村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第2章-3-(11)-ウ	
担当部課名	産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備	
事業内容	離島交通ネットワーク手段の確保として、船舶欠航時やダイヤ変更時にチャーターヘリコプターを利用した場合、運賃の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	8,700	8,700	12,600	6,000	6,000
	(b) 予算現額	8,700	8,700	6,000	1,740	3,000	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 6,600	▲ 4,260	▲ 3,000	
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	8,700	8,700	6,000	1,740	3,000	
	B. 執行済額	4,140	3,600	4,200	510	1,740	
	うち交付金充当額	3,312	2,880	3,360	408	1,392	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	47.6%	41.4%	70.0%	29.3%	58.0%	
予算の状況の説明	他の近隣離島自治体も同様のスキームで補助事業を実施しており、機体数や予約の重複等の影響により、本村へのフライト回数が減少してきたのに伴い、不用額1,260千円が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	達成状況	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	村営船舶航欠航時等におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施	目標	(支援)	(支援)	(支援)	(支援)	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	慶良間空港～那覇空港間の運行回数58回分の運賃一部支援を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	フェリーや高速船の欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運行補助を行うことで利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		89%	80%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	アンケート調査の結果では「満足していない」との回答は1件もなく、利用者からは船舶欠航時の代替があること、ヘリコプターの利用により移動時間が短縮された等、利便性が図られたといった感想が寄せられ、目標を達成することが出来た。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・他の近隣離島自治体でも同様の補助事業を実施している。運航可能なヘリコプターは1機のみで船舶欠航時は電話が集中し予約が取れない場合があり、必ずしも需要を満たす状況ではない。 ・ヘリコプターは外地島にある慶良間空港を離発着することから、座間味島の利用者にとっては、島間の船舶移動と阿嘉島から慶良間空港までの移動手段の確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶欠航時等の予約が重複するような日には、より多くの受入れを行える体制を整備することが必要である。 ・阿嘉島と慶良間空港間を往来する公共交通がないので移動手段の確保について検討する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業が各離島において必要な状況下でしっかりと活用できるよう、運航会社と運航区間や飛行時間を考慮し、より多くの運航が可能となるように調整していく。 ・阿嘉島～慶良間空港間の移動利便性向上のため、交通手段の確保について検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,740	1,740	1,392	348	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・県内においてヘリコプターによる輸送業務を行う事業者は当事業者しかなく妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・不用額1,260千円が生じているが、予約の重複等、予約が取りづらいたことが要因であり、予算額は適当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担額は最大5人利用時には高速船の那覇発往復料金と同等となっており、妥当な額である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・事業の用途については実績報告、額の確定時において支出等の書類により確定しており適正である。

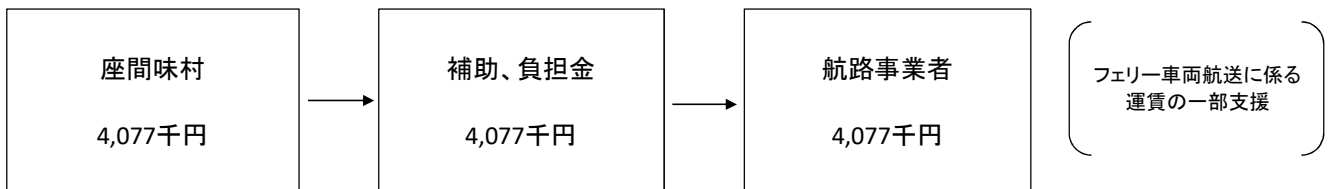
市町村名		座間味村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	座間味村自動車航送運賃低減化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部課名	船舶・観光課		事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島と座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	2,542	3,076	3,843	4,462	4,199
		(b) 予算現額	3,100	3,635	3,843	4,462	4,199
		(c) 増減額(b-a)	558	559	0	0	0
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		3,100	3,635	3,843	4,462	4,199
	B. 執行済額		3,090	3,598	4,326	4,337	4,077
	うち交付金充当額		2,472	2,878	3,460	3,469	3,261
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.7%	99.0%	112.6%	97.2%	97.1%
予算の状況の説明		当初で予定していた台数分の補助を執行することができ、不用額は122千円にとどまった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	車両航送運賃の低減化支援	目標	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	
		実績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	公共工事の影響により、工事車両の移送が増えたため、例年よりも支援台数が少なかったが、概ね目標を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
	実績				未実施	73.3%	
	【参考指標】 支援台数	目標	()	(490)	(644)	(575)	()
		実績		606	617	577	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 過去3年間の実績を元に目標台数を設定しており、例年よりも実績数は少なかったが目標は達成できた。(4月38台、5月58台、6月44台、7月47台、8月45台、9月38台、10月56台、11月60台、12月67台、1月52台、2月34台、3月38台) アンケートは9月から11月の3か月間実施し、30件中22件満足しているとの結果だった。(満足度73.3%) 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・村内での公共工事の増加により、工事車両を移送することが多くなったため、例年より支援台数が少なくなった。 ・利用者アンケートについては、9月から11月までの3か月間実施したが、件数も少なく、目標の80%には届かなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民が予約を取りやすい体制づくりが必要である。 ・アンケート数を増やすとともに、利用者の満足度向上を図る必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民の利用が多い時期は、住民の車両と公共工事車両の搬送について、公共工事担当者と調整を図り、対策を講じる。 ・アンケート数を増やし、原因分析を行い満足度向上に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

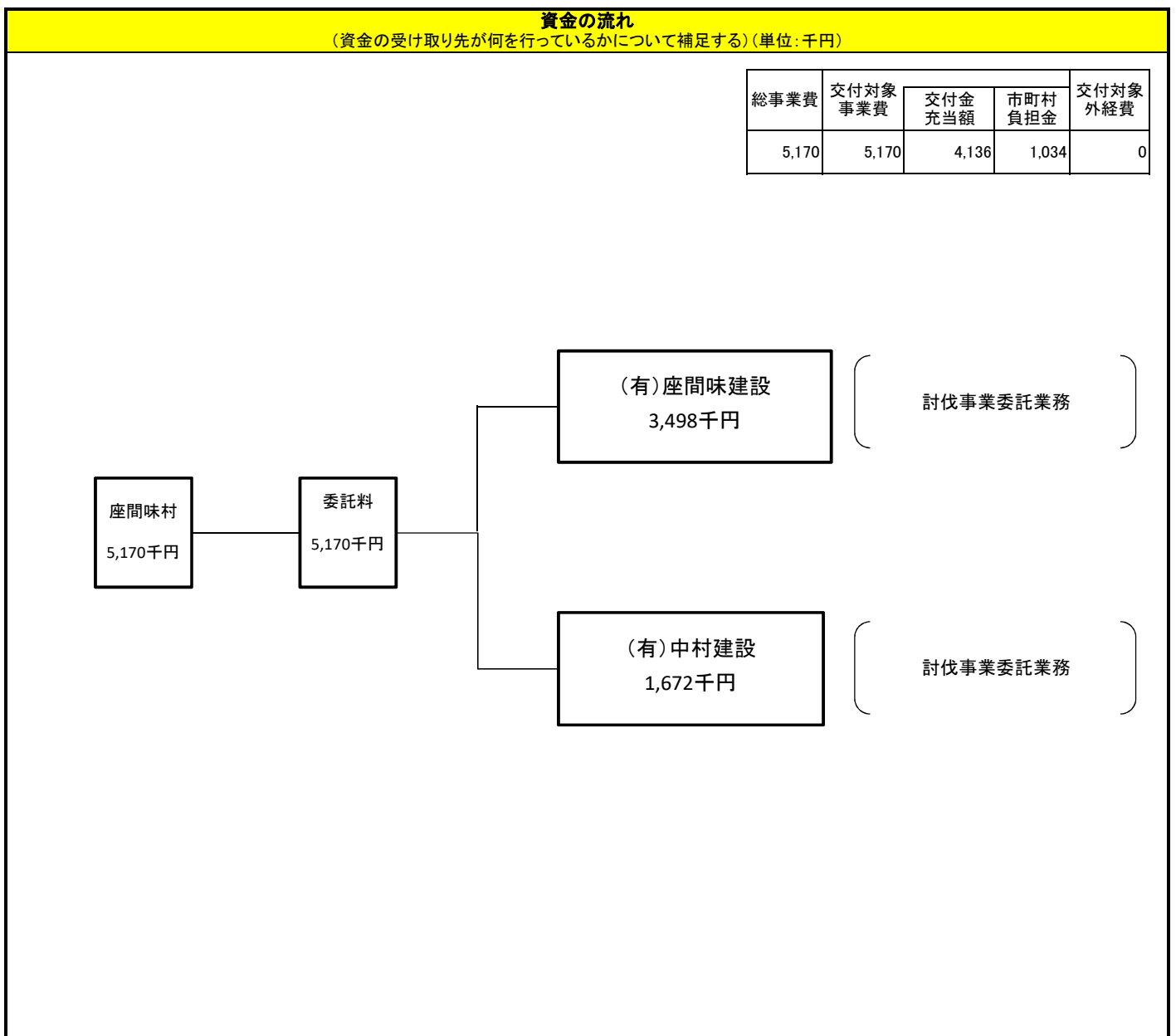
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,077	4,077	3,261	816	0



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、航路事業者が1事業者しかないため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、当初予算から増減なしで実施できており、妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者については、5割を負担し実施要綱どおりの負担割合であり、事業内容からも妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○座間味村事業者航送運賃低減化事業については実施要綱に定めた額を執行しているので妥当である。

市町村名		座間味村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	座間味村外来植物討伐事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保持 Ⅲ-10-1	
事業内容	座間味村らしい景観の保全や観光地としての安全性確保のため、村内に自生する外来種(モクマオウ・ギンネム等)の抑制を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	22,897	9,854	9,854		5,298
	(b) 予算現額	22,897	9,854	9,854		5,298	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0		0	
	(d) 繰越額	-	-	-		-	
	A. 計(b+d)	22,897	9,854	9,854		5,298	
	B. 執行済額	22,680	9,666	9,612		5,170	
	うち交付金充当額	18,144	7,732	7,689		4,136	
	次年度繰越額	0	0	0		0	
	執行率(%) (B/A)	99.1%	98.1%	97.5%		97.6%	
予算の状況の説明	不用額128千円については入札差金である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	外来植物伐倒事業の実施(2地区)	目標	(委託業務の実施)	(委託業務の実施)	()	(実施)	
		実績	委託業務の実施	委託業務の実施		実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	委託事業を実施し、外来植物の討伐事業を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する。	目標	()		()	(80%以上)
	実績						未実施
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	それぞれの地区において討伐事業を実施したが、アンケートが未実施となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・観光客向けに船舶事務所(旅客チケット売り場)でアンケートを行う予定であったが、窓口の混雑のため、アンケートを実施することが出来なかった。</p>	<p>・観光協会へ依頼して、本来あるアンケートに項目を追加し、アンケートを実施する。また、伐倒本数を作業者から報告してもらい事業検証の参考とする。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・観光協会と協力してアンケートの確実な実施と、討伐本数や討伐箇所等の状況を確認することにより、より精度の高い検証を行う。</p>		



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により業者選定を行っているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は作業の実施規模を想定して行っており不用額も5%以下となり妥当である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については精算段階で検査を実施しており目的に即し、必要なものであった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-① 座間味村平和・未来プロジェクト事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(5)-ア			
	産業振興課		事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度	文化資源を活用したまちづくり			
担当部署名			事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度	III-3-(2)			
事業内容	本村で起きた戦争事実を後世へ伝えるため、文献・書籍・体験者証言をデジタルコンテンツ化し、平和発信の取り組みに活用する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,043	15,220				
		(b) 予算現額	19,043	15,201				
		(c) 増減額(b-a)	0	▲19				
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	19,043	15,201				
	B. 執行済額		18,987	15,191				
	うち交付金充当額		15,189	12,152				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		99.7%	99.9%				
予算の状況の説明		不用額10千円については委託の入札差金によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	H30年度の成果を基にデジタル化する文献、書籍等の著作者への許可申請及び収集	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
	戦跡マップ制作に係る現地コーディネーターの手配	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
	古民具等の記録集作成に係る住民への情報収集	目標	(実施)	()	()	()		
実績		未実施						
コンテンツ制作に係る各種調整の実施	目標	(実施)	()	()	()			
	実績	実施						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村出身戦争体験者の書籍(出版社1冊、自費制作12冊)と村史(上・中・下巻)のデジタル化を行った。 ・壕などの戦跡に詳しい住民に現地コーディネーターを依頼し、位置の把握や戦跡の写真撮影を行った。 ・古民具等の記録集作成に係る情報収集については、次年度に歴史文化・健康づくりセンターの開設に併せて展示する古民具等の提供についての呼びかけを行う方が効果的であると判断し実施を見送った。 ・コンテンツ制作に係る各種調整の実施については、村内における戦争関係について個人で調査研究を行っていた村出身者の方などにご協力いただき、戦跡マップ、パンフレットへ記載する戦跡及びその説明文について助言いただいた。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	コンテンツの制作(多言語パンフレット、戦跡マップ、証言集、文献・書籍等のデジタル化、古民具等の記録集、平和学習用映像、WEBサイト・ホームページ、子ども向け紙芝居・WEB漫画)	目標	()	(実施)	()	()	()	
		実績		実施				
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語戦跡マップ、パンフレットの制作を実施した。(日本語、英語、中国語、韓国語) ・16件の証言映像をWEBサイト用に1件あたり10分程度に編集した。 ・村出身の戦争体験者の書籍や村史のデジタル化を実施した。 ・古民具等の記録集については、活動目標の達成状況説明で記載したとおり実施を見送った。 ・ICTによるWEBサイトを活用した学習が可能であるため、平和学習用映像の作成を見送り、WEBサイト上でダウンロードできるワークシートの制作を実施した。また、本事業の周知・活用のため、県内外の教育施設等への配布用PR映像の制作を実施した。 ・戦争体験者の証言を基にしたデジタル絵本を制作した。 ・PC、スマホ、タブレットで閲覧可能な多言語WEBサイトを製作した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・今年度、実施予定であった古民具等の記録集作成に係る情報収集が行えていない。</p>	<p>・古民具等の情報を効率的に収集する方法を検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・次年度の歴史文化・健康づくりセンターの開設に合わせて古民具等の情報提供を呼びかけることで、効率的に情報収集を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,191</td> <td>15,191</td> <td>12,152</td> <td>3,039</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,191	15,191	12,152	3,039	0	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
15,191	15,191	12,152	3,039	0									
<pre> graph LR A[座間味村 15,191千円] --> B[委託料 15,191千円] B --> C[株式会社 サン・エージェンシー 15,191千円] </pre>													
<ul style="list-style-type: none"> ○戦跡マップ制作(4か国語)及び戦跡地の説明内容の確認等 ○パンフレット制作(4か国語) ○証言映像のWEBサイト用編集・テロップ作成及びテキスト作成(16件分) ○文献・書籍のデジタル化(16冊・約4000ページ) ○教育施設等への配布用事業プロモーション映像制作(3分程度・DVD-R100枚) ○ワークシート制作 ○デジタル絵本製作 ○WEBサイトの制作(上記の全コンテンツが閲覧可能) 													
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は事業内容から公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											